

## 会 議 録

会議名	第二回 深谷市環境審議会
開催日時	平成 29 年 9 月 11 日 (月) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 20 分
開催場所	南公民館 2 階 中会議室
出席者	審議会委員：別紙 (委員出欠確認) のとおり 事務局：環境水道部 (中野、澤野)、環境課 (前野、笠原、横瀬、松永)
会議事項	議事 (1) 市民及び事業者意識調査の結果報告について (2) 深谷市環境基本計画骨子 (案) について (3) 今後のスケジュールについて その他
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	次第 (資料 1) 深谷市環境基本計画意識調査結果 (市民、事業者) (資料 2) 深谷市環境基本計画骨子 (案) について (資料 3) 今後のスケジュール
その他の事項	

別紙

会議の経過

発言者	議題・発言内容（趣旨）
事務局	<p><b>1. 開会</b>            （事務局より、開会挨拶、資料確認等）  <b>会長による議事進行</b></p>
委員	<p>（会長挨拶）</p>
事務局	<p><b>2. 議事</b>  <b>（1） 市民及び事業者意識調査の結果報告について（議題1）</b>            （深谷市環境基本計画意識調査結果（市民、事業者）の資料に沿って事務局より説明）</p>
委員	<p>調査の回答率について、深谷地区が相当高いことについて、どのような理由か。</p>
事務局	<p>⇒旧深谷市の住民が、現在の居住地区にかかわらず深谷地区と誤って回答している可能性が一つの理由として考えられる。</p>
委員	<p>70歳以上の回答データがかなり多いが、他の年代とのデータ比較がきちんとできているか。</p>
事務局	<p>⇒今回の報告書には掲載していないが、データとしては集計している。</p>
委員	<p>問2については問1で「知っている」と回答した人のみが、回答対象となるはずだが、回答の母集団数は、どちらの質問もほぼ同じである。これは、厳密な統計的な処理の問題はあるものの、今回の調査目的が意識の概要を知るためのものであるという理由でよいのか。</p>
事務局	<p>⇒基本目標の具体的な取組みを書くことにより、計画内容を知らない方も回答できるようになっている。</p>
委員	<p>コージェネレーションは、必ずしも省エネの手段とはならないこともあるが、この点どのように考えるか。</p>
事務局	<p>国や県の補助金対象となっていることもあり、省エネの一つとして捉えている。</p>

事務局	<p>(2) 今後のスケジュールについて (議題3)</p> <p>(途中退出予定者がいるため、先に議題3について、今後のスケジュールの資料に沿って事務局より説明)</p>
委員	<p>次回の会合は11月下旬との予定であるが、具体的な日付は、なるべく早く決定してほしい。そうしないと他の予定が入ってしまう。また、最後の審議会が1月下旬に予定されているが、この時期は市長選挙の時期に当たり、開催は難しいのではないかと。</p>
委員	<p>10/20は、他の予定があり出席できない。11月も予定が入りつつあり、早めに日程を決定いただき、知らせてもらいたい。</p>
事務局	<p>⇒3月議会へ上程するため、市民へのパブコメを1月下旬としているが、調整し、決まり次第連絡する。場合によっては、代理出席等もお願いできればと考えている。</p>
事務局	<p>(3) 深谷市環境基本計画骨子(案)について (議題2)</p> <p>(深谷市環境基本計画骨子(案)の資料に沿って事務局より説明)</p>
委員	<p>新規計画において、現行計画から大きく変わった点はどこか。現行の基本目標の1つ目が、新規計画の1つ目と2つ目に分かれたと印象を持つが、他に大きな変更として何かあるのか。</p>
事務局	<p>⇒環境基本計画は、総合計画の環境分野に位置付けられているため、総合計画と整合性をとっている。低炭素や循環型、自然共生や安全安心、協働社会と全て網羅し、その点からは、方向性として大きく変わったことはない。なお、特定外来生物の対策は大きな問題となっており、今回新たに基本施策に組みこんだ。</p>
委員	<p>新たな計画に指標を設けたことは、評価指標として良いことであると考えている。</p>
委員	<p>深谷市周辺では、ヒートアイランドや酷暑の問題がある、こうした地域独自の問題や対策についてはどのように考えているか。また、事業者の具体的な取組については、どうするのか。一方、現在世界で議論となっているSDGs(持続可能な開発目標)などの考え方を先取りして組み込むことも検討いた</p>

事務局	<p>だきたい。</p> <p>⇒深谷市は日射量が多いため、太陽光発電の導入ポテンシャルが大きいと考えている。設置容量は県内 2 番目であり、エネルギーの地産地消、農地や豊かな緑による自然景観、また、花フェスタなど、市民と協働していくまちづくりを進めていることが、本市の特徴であり、独自性が高いと考えている。事業者の具体的な取組内容等については、骨子案が固まり次第、素案策定の中で検討したい。</p>
事務局	<p><b>3. その他</b></p> <p>今回は、10月20日に開催、素案についての審議となる。</p> <p>素案については、内容が多いため事前に送付し、意見募集を実施するため、委員の方々への協力を依頼した。</p> <p><b>4. 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">以上</p>